

第101期 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで

株式会社 オーバル

証券コード：7727

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
第101期上半期における当企業グループの事業概況につきまして、ここにご報告申し上げます。
当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米においては歴史的なインフレ率の上昇が続き、景気の下振れ懸念が高まりました。また、中国では厳格な感染抑制策による雇用環境悪化などを受けて、国内需要が伸び悩みました。わが国経済は、感染防止と経済活動の両立を目指し、持ち直しの動きが続きました。しかしながら、急激な円安の進行から、エネルギーコストや原材料価格が高騰し、個人消費の低迷が懸念されるなど、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当企業グループは「中期経営計画『Imagination 2025』」において、経営理念“確かな計測技術で、新たな価値を創造し、豊かな社会の実現に貢献します。”に基づき、企業活動を通じてこれまで培ってきた技術をより一層深化させることにより、持続的な社会の実現に貢献する商品およびサービスを提供するとともに、アジアNo.1のセンシング・ソリューション・カンパニーを目指し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組んでおります。当第2四半期連結累計期間では、中期経営計画の「成長戦略」として、展示会、ものづくりや研究開発に携わる技術者向けのデジタル放送局、また動画配信サイトを活用し、お客様の工場内の環境改善、安全対策や作業効率アップのための装置の選び方や導入について、事例を通して、お客様の課題や悩みを解決するべく、当社商品、システムソリューション、サービスを活用した提案を行い、課題解決型の営業を強化してまいりました。一方、「経営基盤強化戦略」として、マーケティングオートメーションを活用し、営業の効率化やマーケティング活動の多様化に取り組んだほか、デジタルツールを活用した当企業グループの成長を加速するべくDX推進部署の設置の準備を進めてまいりました。

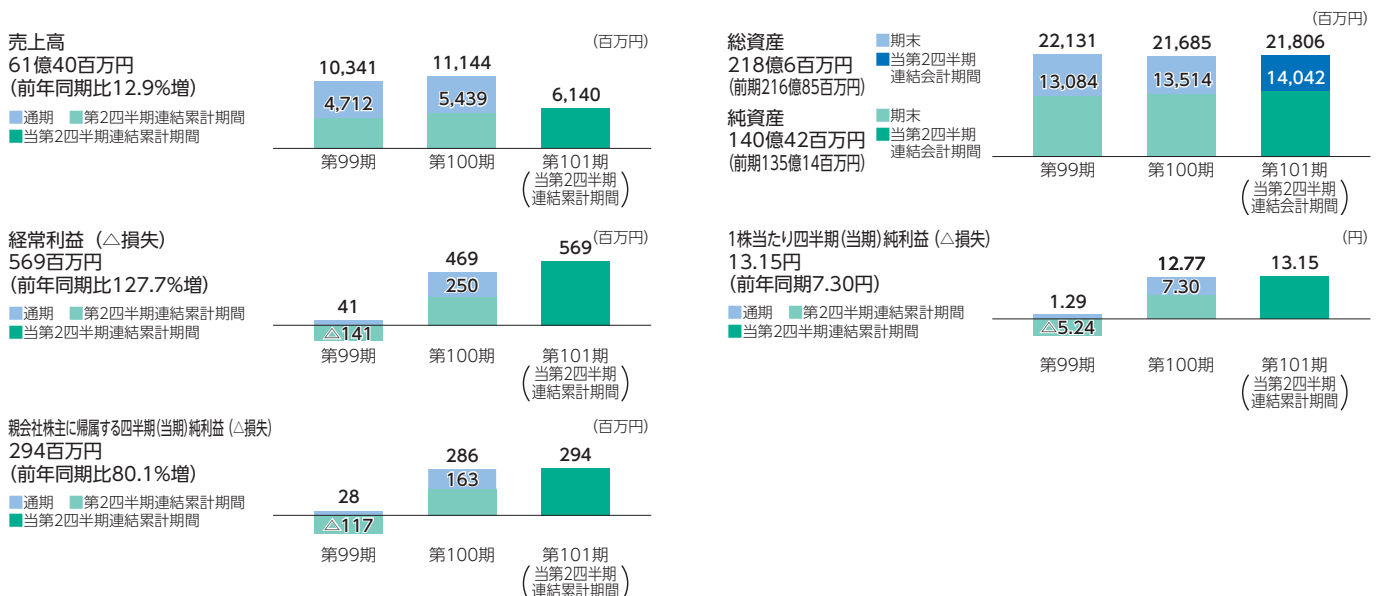
その結果、受注高は6,570百万円（前年同四半期比5.8%増）、売上高は6,140百万円（同12.9%増）となりました。利益面につきましては、売上高が大きく前年同四半期を上回ったことに加え、当企業グループ内の国内外のサプライチェーン見直しにより材料費率の上昇を抑え、また各種経費の圧縮を継続し、原材料価格の高騰の影響を最小限に抑えたことにより、営業利益は474百万円（前年同四半期比186.3%増）、経常利益は569百万円（同127.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294百万円（同80.1%増）といずれの利益におきましても前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を継続して行うことを経営の重要課題の一つとしており、配当を最も重視すべき利益還元であると認識し、経営基盤の確保と将来の事業展開に備えた財務体質の充実を総合的に勘案し決定することを基本方針としております。この基本方針を踏まえ、当期の中間配当金につきましては、昨年比1円増配の1株につき4円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

連結財務ハイライト



① 計量計測展INTERMEASURE 2022



2022年9月14日から9月16日にかけて東京ビッグサイトで開催された「第30回計量計測展(INTERMEASURE 2022)」に出展いたしました。期間中多くのお客様にお越しいただき、心より御礼申し上げます。

本展示会では、IoT・DXによるモノづくり環境の安全・安心や合理化の促進に貢献する製品として「ミスター省エネ*」を、さらに今回は「耐圧防爆形無線通信ユニット」を新しくラインアップに加えて展示いたしました。

また、脱炭素社会における水素サプライチェーン関連製品として、流量計測と校正をワンストップで対応することを目指す「120MPa超高压形コリオリ流量計」、「熱質量流量計」を、また、参考出品として「液体水素用渦流量計」を展示いたしました。さらに、業務提携しているBLUEEDGE 4社(東京計器株式会社、長野計器株式会社、株式会社チノー、株式会社オーバル)が近接エリアにブースを設置して水素の製造から運搬、利用までの制御や監視についてのデモ展示を行いました。当社の製品が脱炭素社会の一翼を担うことができるよう、今後も注力してまいります。

その他、開催期間中はお客様からの具体的なご相談やご要望に対して解決策を提案させていただきました。本展示会で頂戴しましたご意見、ご要望を活かし、今後もお客様のお役に立てる製品開発に努めてまいります。

*「ミスター省エネ」はセイコーインスツル株式会社の登録商標です。

② クロスカントリースキーヤー・宮崎日香里選手と所属契約を締結

2022年11月に、クロスカントリースキーヤーの宮崎日香里(みやざきひかり)選手と所属契約を締結いたしました。

目標に向かって努力するひたむきな姿勢が日々自らを革新して発展、飛躍する私たちオーバルの企業姿勢と相通じると感じたことから今回の契約締結に至りました。また、スキー選手にとって気候変動による雪不足は深刻な問題であり、環境問題に取り組んでいる企業に契約をお願いしたいとの宮崎選手の思いに応えるため、オーバルは今後も環境問題に取り組むつつ、宮崎選手を応援していきます。



【宮崎選手からのコメント】

この度、2026年ミラノ五輪でクロスカントリースキー種目日本人初のメダルを獲得するために、ともに世界に向けて歩んでいただくパートナーとして、株式会社オーバル様と所属契約をさせていただくことになりました。世界を目指すために、日々全てをスキーのために過ごしておりますが、株式会社オーバル様のためにも、必ず世界で活躍し、ミラノ五輪で日本人初の快挙を成し遂げたいと思っております。嬉しいことも悔しいことも、ともに味わい、世界に辿り着きたいと思っております。応援宜しくお願いいたします。

【宮崎選手の主な競技実績】

2015年 ぐんま冬季国体 少年女子の部 優勝
2016年 インターハイクラシカル 優勝
2016年 ユースオリンピック混合団体 7位入賞
2017年 札幌冬季アジア大会 20km リレー 優勝
2017年 世界ジュニア選手権大会出場
2018年 同上
2019年 同上
2019年 全日本学生スキー選手権大会 5km クラシカル 優勝
2020年 とやま・なんと国体女子リレー 優勝

【プロフィール】

生年月日: 1998年8月21日

出身地: 長野県下高井郡山ノ内町



会社概要／株式関連情報 (2022年9月30日現在)

■ 会社の概要

商号	株式会社 オーバル (英文商号: OVAL Corporation)
代表者	谷本 淳
創業	1949年(昭和24年)5月10日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
資本金	22億円
事業内容	1. 工業用計測機器および関連機器の製造・販売 2. 計装および制御・管理装置の製造・販売 3. 工業用計測機器および装置に関するメンテナンス業務、流量計の検定業務
従業員数	661名(連結)
本社	〒161-8508 東京都新宿区上落合三丁目10番8号 Tel.03-3360-5009 (経営企画室)
主要事業所・営業子会社	横浜事業所、東北、神奈川、中部、大阪、岡山、九州営業所 株式会社山梨オーバル、オーバルアシスタンス株式会社、株式会社宮崎オーバル(以上国内)、HEFEI OVAL INSTRUMENT CO., LTD.、HEFEI OVAL AUTOMATION CONTROL SYSTEM CO., LTD.(以上中国)、OVAL ASIA PACIFIC PTE. LTD.(シンガポール)、OVAL TAIWAN CO., LTD.(台湾)、OVAL ENGINEERING INC.(韓国)、OVAL ENGINEERING SDN. BHD.(マレーシア)、OVAL Corporation of America(米国)

■ 取締役及び執行役員

代表取締役社長	谷本 淳	取締役兼執行役員	小熊 仁
取締役兼執行役員	浅沼 良夫	社外取締役 常勤監査等委員	池上 幸定
取締役兼執行役員	加藤 芳樹	社外取締役 監査等委員	寺尾 吉哉
取締役兼執行役員	新國 誠治	社外取締役 監査等委員	松本 正
執行役員	今井 信介	執行役員	山森 康一
執行役員	市村 隆博	執行役員	田中 直人

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
公告の方法	電子公告 URL https://www.oval.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

■ 株式の状況

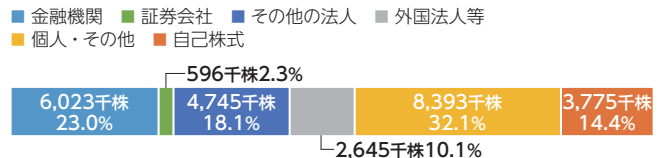
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	22,404,008株 (自己株式3,775,992株を除く)
株主数	5,756名

大株主の状況

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	1,900	8.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,663	7.4
INTERACTIVE BROKERS LLC	1,600	7.1
東京計器株式会社	1,309	5.8
轟産業株式会社	1,141	5.1
株式会社三笠	811	3.6
日本生命保険相互会社	691	3.1
CEPLUX-ERSTE GROUP BANK AG(CLIENT ACCOUNT)	593	2.6
横河電機株式会社	512	2.3
損害保険ジャパン株式会社	422	1.9

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株式の分布状況



(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 オーバル

